

製材用原木の森林組合共同出荷

1. 管内森林組合の概要

【大原森林組合】

管轄：雲南市(旧大東町、旧木次町、旧加茂町)

民有林面積：16,021ha 原木生産量：5,144m³

【仁多郡森林組合】

管轄：奥出雲町

民有林面積：28,488ha 原木生産量：9,753m³

【飯石森林組合】

管轄：雲南市(旧三刀屋町、旧掛合町、旧吉田村)、

飯南町

民有林面積：44,661ha 原木生産量：14,265m³

※原木生産量はR5年度実績

2. 取組の経過及び概要

木材生産した原木は、用途別に製材用(A材)、合板用(B材)、製紙用・燃料用(C、D材)に仕分け、木材市場、製材工場、合板工場、バイオマス発電所等に出荷。

高く取引できる製材用(A材)原木の安定供給による原木の出荷量・取引の拡大を推進。

仁多郡森林組合が佐々木馬一商店(益田市)に原木安定供給協定に基づき製材用原木を出荷中(H24～)。

単一の森林組合だけでは、計画的に相応の出荷ロットを確保することができず出荷が不定期。

令和3年度から、管内3森林組合が協力連携し佐々木馬一商店へ製材用原木の共同出荷を開始。

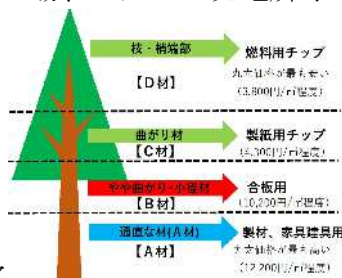
令和4年9月からは、県外の製材工場((株)オービス)への共同出荷も開始。



中間土場施設(亀嵩)での集材状況



トラック積込・出荷の様子



3. 取組の成果

(1) 県内製材工場への共同出荷

佐々木馬一商店への出荷状況(R6.2現在)		
年度	出荷目標(m ³)	出荷実績(m ³)
R4	500	565
R5	900	1,090
R6(R6.4～R7.2)	1,000	936

- ・出荷原木の規格：スギ4m材(φ30cm～)
- ・原木の用途：製材用(羽目板、床材など)
- ・R6年度出荷量：936m³(R5年度出荷量：1,090m³)

(2) 県外製材工場への共同出荷

(株)オービスへの出荷状況(R6.2現在)		
年度	出荷目標(m ³)	出荷実績(m ³)
R4	600	978
R5	1,000	1,977
R6(R6.4～R7.2)	2,100	2,404

- ・出荷原木の規格：スギ4m材(φ28cm～)
- ・原木の用途：製材用(パレット材、梱包材)
- ・R6年度出荷量：2,404m³(R5年度出荷量：1,977m³)



(株)オービスの製造ライン

【共同出荷のメリット】

- ・出荷ロットの確保・拡大と安定供給
- ・輸送トラックの積載率・稼働率アップによる流通コストの削減

代表者から一言

「共同出荷することで、納材先に安定的に原木を供給できるのが大きなメリット。」

仁多郡森林組合 佐藤孝洋 林産整備課長

4. 課題と今後の取組方向

- (1) 中間土場施設(南加茂、吉田、亀嵩、飯南)の活用と計画的な集材
- (2) 中間土場施設での用途別に効率的な選木・仕分け
- (3) 中間土場施設を拠点とした効率的な輸送ルートの検討
- (4) 安定供給をベースにした価格交渉力の強化(有利販売)
- (5) 新たな県内外製材工場への販路開拓